



2023年度 ドコモ市民活動団体助成事業 活動成果報告書

2024/9/30

<p>団体名</p>	<p>NPO法人心をつなぐホースセラピーぐりん・はあと</p>	<p>活動タイトル</p>	<p>生きづらさを抱える子どもや保護者を元気にし自己肯定感を高める支援活動</p>	
<p>望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）</p>			<p>■活動風景</p>	
<p>●地域の望ましい社会状況(ビジョン)</p>	<p>当団体の実現したいビジョンは、すべての子どもや保護者が、心身共に健康な状態で社会生活を営み、それぞれが自己肯定感に満ちた生き方ができる社会である。生きづらさを抱えている子どもたちに、ホースセラピーや自然とのかかわりを通して、できたことによる自信を抛り所にして、より生活に活力を持てることをイメージしている。また、生きづらさを抱える子どもたちの親支援にも一層力を注ぎ、コミュニケーションをとることで心配事や悩み事を聞き、アドバイスで子どもを育てる親自身を元気にする。私たちが行う体験的な活動を必要としている保育、教育の現場も少なくない。多忙化する現場の条項を鑑み、園・学校・関係団体の支援も同時に行う。支援をする多様な方々と一丸となって、誰もが幸せに生きる社会を実現したい。</p>		<p>訪問および個別のホースセラピーの様子</p>	 
<p>●団体の社会的役割(ミッション)</p>	<p>34年間の教員経験で多くの子どもたちにかかわってきた。NPO法人（2008年設立）では、生きづらさを抱えた子どもたちへのホースセラピーや保護者への相談活動をしてきた。2019年より、生きづらさを抱えた子どもたちへの自然体験活動も始めた。そうした子どもや保護者が苦しんでいる現実を踏まえ、一人でも多くの子どもや保護者が元気になる支援の必要性を感じ、上記ビジョンを設定した。</p>			
<p>●団体の活動基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい人的資源：子どものひとりだち応援アドバイザー、メンタル心理士、おくむらこどもクリニックの医師、みどり動物病院の獣医師、ボランティアスタッフ、馬の世話人（障がいのある子たち）、岐阜県家畜保健所 ●望ましい物的資源：活動場所：①自宅（農園、作業小屋）、②ゆらぎのひろば（馬場・広場） ・動物：ポニー(3頭)、犬(1匹、猫2匹)、・自然：農園、河川敷、森など ●望ましい活動資金： ・参加者からの負担金、参加費、助成金、応援者からの寄付金、協賛金 ●望ましい情報：学校現場からの情報、支援団体からの情報、医療現場からの情報、福祉（障害）現場からの情報 			
<p>■活動報告</p>			<p>■1年間の目標に対する達成状況(まとめ)</p>	
<p>●生きづらさを抱えた子どもたちのためのホースセラピー 個別のセラピーは主に土日祝祭日を利用して行った。今期も定期的に利用を希望する子どもや保護者が増えた。団体は訪問と受入れで、保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校を対象に行った。指導をする先生方にセラピーの意義を伝えることができた。</p> <p>●生きづらさを抱えた子どもをもつ保護者支援 セラピーと同時に進むものと、希望者によるものと2本立てでおこなった。踏み込んだ相談・支援により、困り感への寄り添いができた。 また、グループや小集団でのおしゃべりカフェが計画以上にできた。心配事・悩み事を出すことにより子育てへの活力に繋がった。</p> <p>●組織基盤の強化 乗馬指導スタッフ、馬のお世話ボランティア「うま娘」、馬の世話人「駒っこ」のいずれも、計画通りスタッフの増員ができ、安定して安全に活動を実施することができた。 一昨年度に作成したマニュアルを生かすことで、スタッフ意識向上に繋げることができた。</p> <p>●ネットワークの充実 支援を必要とする保護者と支援者とを繋げるネットワークのしくみを整えた。HPの構築、広報用チラシづくり、寄付システムの構築を行うことができた。加盟者が徐々に増加し、より存在価値の高いものにしていく足がかりができつつある。</p>			<p>ホースセラピーへの期待感が膨らむ中で計画通り実施できた。また、保護者支援の必要性を感じる中で、計画以上に個別の相談やおしゃべり・カフェを実施でき、社会のニーズに応えられた。 年間実績（アウトカム）は以下の通り。※2023年9月～2024年8月の助成期間内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホースセラピーの実施（受け入れ&訪問） 〔個別〕36日間（達成度100%）、延べ182人（達成度140%） 〔団体〕16園・校・団体（達成度123%）、延べ584人（達成度314%） ●保護者支援の実施・・・計画以上に実施でき、保護者の期待に応えることができた。 〔個別・同時〕36日間（達成度100%）、延べ182人（達成度140%） 〔個別・希望〕99人（達成度141%）延べ99日間実施 〔グループ・小集団のおしゃべり・カフェ〕12回（達成度350%） ●組織基盤の強化・・・計画の成果を挙げることができ、組織的安定に繋がった。 〔スタッフ研修〕2回（達成度100%） 〔スタッフ増員〕乗馬：1名⇒3名、ボランティアうま娘11人⇒15人(4名増・達成率100%) 〔寄付金〕・・・目標20万円⇒10万円(達成率50%) ●ネットワークの充実 〔講演会&交流会〕2回実施(達成率100%) 〔加盟団体数〕目標30団体⇒30団体（見込み・100%） 	
<p>■事業を通じて得られたノウハウ</p>			<p>■望ましい社会状況を達成するための課題</p>	
<p>●生きづらさを抱えた子どもたちのためのホースセラピー 構築してきた実施体制や活動スタイルにより、効率的、効果的にホースセラピーを実施できる。すべての子どもや保護者に対しても同質の内容を提供でき、保護者の満足度を高める。</p> <p>●生きづらさを抱えた子どもをもつ保護者支援 面談等により得られる情報(背景)を踏まえたアセスメントにより、不安事や悩み事に対して的確なアドバイスができる。おしゃべりカフェについては、対話交流の効果により、保護者の悩みや迷いを緩和できる。保護者の子育てへの意欲を高めることに繋がる。</p> <p>●組織基盤の強化 増員により安心・安全かつ、継続的に活動を実施することができる。 活動マニュアルを活用することや研修をすることが、スタッフの活動意欲と資質の向上に繋がり、継続性・発展性を向上させる。</p> <p>●ネットワークの充実 支援者のもとに地道に足を運び、思いや考えに触れることを通じて加盟者を増やす努力が、安心して支援者に繋がれるセイフティーネットワークとなる。</p>			<p>積極的に活動を展開することができた。ホースセラピー、保護者支援、ネットワークづくりのいずれも社会的なニーズがあり、アウトカムからみても、私たちへちが行う活動に対する期待感が活動実績に繋がったと言える。 こうした活動を通して、生きづらさを抱えている子どもたちや保護者が、自信を取り戻し、生きる希望を見いだしていく様子を目の当たりにした。子どもたちの変化、保護者の心理的負担感・疲労感の緩和、閉塞状況の改善などから、社会全体にこうした動きが出てくることの必要性を一層強く感じた。 私たちができる生きづらさを抱えた子どもやその親のための活動や支援には限界がある中で、私たちの使命とは？多様な活動を実施している人や団体との繋がり、情報交換や対話交流し、一人でも多くの子どもや保護者が救われる支援のしくみを創っていくことが求められる。このようなことから、今後、動き出したネットワークづくりこそ必要なものと考え、盛り上げ、うねりにしていきたい。</p>	
<p>■活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>			<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>◎子どもたちの生きづらさの緩和、保護者の閉塞状況の改善 ◎組織基盤の向上と活動の安定 ◎支援のためのネットワークの動き出し</p>
<p>■受益者の具体的な変化（自由記入）</p>			<p>生きづらさから意欲や自信をなくしていた子どもや困り感を感じてもがいている親が、新たな刺激や魅力ある大人と出会い、生きる希望をもつことができた。 やりたいことを見つけ、夢中・熱中し、元氣と自信を回復する。何人もが、新しい環境の中で、自らの目標や夢を追いかけている。</p>	